



第49号

発行

筑波山がまの油売り

口上研究会

国内外からも多数の来園者で賑わう海浜公園で、一五年を超える長きにわたり口上披露の機会を頂けているのは、水戸教室を中心とする会員の熱意と、公園スタッフの方々の協力あつてのこと。事前の資材搬入から会場設営に至るまで、おかげで明るい雰囲気の中、楽しく演じることができ一同深く感謝しております。

国営ひたち海浜公園は、ひたちなか市に位置し、砂丘・樹林・草地・湧水地等、特色ある自然を活かした都市公園です。四季を通じて彩り豊かな草花や遊園地、自然の中で楽しむアクティビティスポットなどがあり、年間二百万人を超える方が来園されます。

本公園では広大な敷地や自然環境、施設を活かし、一年を通して様々なイベントを開催しております。その中でも「がまの油売り口上」は、国民の皆様が茨城県の伝統芸能を知っていただくことを目的に、上演を行っております。

毎年春と秋に開催している「がまの油売り口上」は、風情あふれる古民家を背景に上演し、大変好評をいただいております。一回で一五〇名以上の方が観覧されます。本公園では一日に三〜四回上演を行っております。口上の基本的な流れは同じですが、口上師それぞれの個性が出ており、どの回も新鮮な気持ちで楽しむことができます。

二〇二五年の春も、ネモフィラの見頃やゴールデンウィークに合わせて、四月二十六日(土)・二十九日(火・祝)・五月一日(木)の三日間開催いたします。

今後も茨城県の伝統芸能を知っていただくイベントとして、筑波山がまの油売り口上研究会の皆様にご協力をいただければ幸いです。

国営ひたち海浜公園とがまの油売り口上

企画係 吉成 麻衣



令和7年度 定期総会の開催について

日時：5月18日(日) 午前 9時30分～総会
午前10時45分～講演会(右記)

会場：土浦市立「小町の館」 ☎ 029-862-1002

※当日、年会費 2,000 円をご用意ください

欠席の方は下記口座に振込みをお願いします。

ゆうちょ銀行 口座番号：10690-38833081

口座名：筑波山がまの油売り口上研究会

㊟ 総会の案内ハガキはお送りしませんので、ご了承ください。



↑HP用QRコード

講演会講師

「つくば観光ボランティアガイド298」

会長 吉原 一行 氏

『筑波山及び筑波山神社・

大御堂の歴史と万葉集25首』

講演会の内容を受けて、筑波山神社周辺を散策する「歴史探訪会」を実施します。(P3に日時掲載あり)

今から三十数年前に、私たちの家族で筑波山のホテルに宿泊した時、その女将がガマの油売り口上をしました。ふと見ると割りばしの袋に口上が印刷されており、面白かったので袋を家に持ち帰りました。それから数年後、今度は親戚の結婚式の二次会の席でガマの油売り口上を見る機会があり、とても楽しい時間を過ごす事ができました。

その後は仕事が忙しく忘れていましたが、昨年の9月に主人が新聞を見て講習の申し込みをしたので、私も付いて行き、見学をさせて頂きました。面白そうでしたので「私も講習受けられますか？」と聞いたところ、大丈夫との事で受講することにしました。それから数カ月が過ぎ、なかなか思う様に覚えられず焦っておりますが、長い目で見ていこうと決めました。

先日、八千代町商工会女性部役員会の時に口上を習っている事を話すと、「是非、商工会でやって！」と言われ、老人ホームの経営者からも「お願い！」等のオファーを頂きました。「目的ができたから、頑張ります！」と伝えました。又、茨城県電気工事業工業組合女性部長として、様々なボランティア活動もしておりますので、機会があればそちらでもやってみたいと思っております。

私は結婚後、主人と共に電気工事士として毎日現場仕事をしていました。その後、建設業経理事

ようこそ 新人さん!!

がま口上に魅せられて...

小町塾 生井善子

口上実演予定のイベント（終演も含む）

古河桃まつり	3月15日(土)	3月16日(日)	3月20日(木)	3月22日(土)
	3月23日(日)	3月29日(土)	3月30日(日)	
常陸風土記の丘 桜まつり	3月29日(土)	3月30日(日)	4月5日(土)	4月6日(日)
	4月10日(木)	4月13日(日)	4月19日(土)	
阿弥陀寺さくらまつり	3月29日(土)	3月30日(日)		
国営ひたち海浜公園	4月26日(土)	4月29日(火)	5月1日(木)	10月は未定
水郷潮来あやめまつり	5月25日(日)	6月1日(日)	6月8日(日)	6月15日(日)
	6月22日(日)			
筑西フェス2025春・秋にも出演予定				

務の資格を取得し、事務所に入るようになりました。事務所に入ってから色々な役職を仰せつかり、事務の仕事より役職の仕事といった感じですが、最近ではゴルフにカラオケと、忙しい毎日を送っております。

忙しい中ではありますが、これから各地のイベントにも積極的に参加してみたいです。それには一日も早く全てをマスターして参加できる様に努力をします。又、皆様にお会いできた事は私の誇りです。これからもしつかりと先輩の方の後を付いて行きますので、どうぞ宜しくお願い致します。

「がまバギ」製作綴り

小町塾 青田 忍

以前イベント用に子供馬車を製作・出馬しました（がま研IP参照）。なぜ「馬」？と疑問を持たれたかもしれませんが。説明をしますと江戸時代から続く大衆芸能や大道芸などを文獻で調べると『ハニホロ飴売り』という奇妙な行商を発見しました（図1）。張りぼての馬を身体に固定し、南蛮唐人の装束でチャルメラを吹きながらの飴売りがいたそうです。当時の子供達は、珍し気にさぞや群がっていた事でしょう。

自分は小町塾長の山口氏と共に、昔懐かしチンドングループに参加しており、これを参考に、パレードで子供受けするであろう「馬車」を製作した次第です。

その後、何か他に創作意欲を掻き立てるものはないかと捜していたところ、ネットで発見したのが『子供乗用電動自動車』！値段も手頃なので、早速取り寄せ、昔の遊園地のコインで動く動物乗り物を思い出し「がまがえる」をモチーフに作ってみようと考えました（写真1）＊



写真1



図1

激動の令和を生きる (雑感)

つくばね会 成田 敏夫

昨年は元日早々、能登半島地震、航空機事故など自然災害が頻発し甚大な被害が発生しました。また、食料品など諸物価の高騰、光熱費、郵便料金などの値上げ、人手不足など取り巻く社会情勢は急激に変化。世界に目を向けると紛争が絶えない不幸な一年でした。令和七年は「一陽来復」で平和な良い一年になるよう願います。

(一) 節目の雑感

昨年は、私にとって「喜寿」「母没後六十年」「リタイア後十年」など節目の複雑な年でした。新型コロナウイルスのパンデミックの長期化により、日常の行動・活動が制限され、我々の生活様式(全体↓個人主義に)も変化しました。コロナ禍中に覚えた歌「昭和・平成・令和を生きる」の歌詞が好きでこの二年半で六十四回も歌った。特に「今日の日があることに感謝して笑顔で行こう」「限りあるこの命大切に希望を胸に」「涙荒れ・笑いあれ・癒しあれ、我が人生」のフレーズが好きで日々の心の糧としています。

(二) 認知症予防や健康寿命を伸すために

「今日行」「今日用」とは良く聞く言葉です。

家の中に閉じこもらないで「趣味活動」などで外出して皆と対話することが大切な要素だと思います。私は持病の腰・足・首など痛みを緩和するため、ウォーキングやラジオ体操、シニア向け健康

体操及び社交ダンス、スクエアダンスなどでリハ努めています。他にカラオケなど楽しんでいます。が、声を出すことは、健康の維持、ストレスの軽減だけでなく、口上の発声練習にもなります。認知症予防や健康寿命を伸ばすために、少しは効果があると信じて続けて行きたいと思っています。

(三) がま口上との出会い

退職後の趣味の一つとして地元の四六のガマも良いかなと思いい、二〇〇二年開催された講座の見学でも：そんな軽い気持ちで飛び入り参加。卒業証書も頂き入会しました。デビューは二〇〇三年十月の常総市あすなろの里。以後二〇二四年十月までの十三年間で口上の実演は七十二日間で百十三回でした。(※二〇〇八年から約五年間休会、二〇二〇年から三年間はコロナ禍で休眠。)

がま口上とは、所詮、売ってなんぼの大道芸。お客さんは油の効能だけではなく、口上師の「心意気」を買います。照れて恥ずかしがっては売れない。口上は、堂々と威勢よくテンポ良く、人間味が伝わるようにユーモアを交えて演じると油も売れるし喜ばれると思います。これからも「認知症や口腔フレイル」の予防になればと思い「楽しく、仲良く、元気よく」をモットーに健康に留意し続けて行きたいと思っています。

歴史探訪会予告

日時:6月14日(土)

集合:9時30分

集合場所:

ホテル青木屋前

ロータリー付近

持ち物:飲み物

タオル等

案内:吉原一行 氏

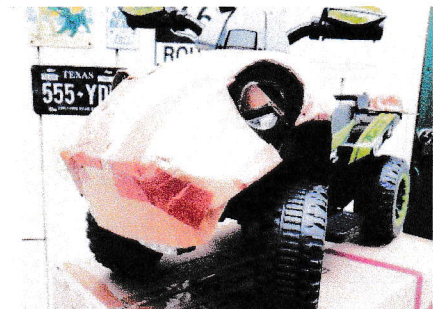
* 昼食は各自自由

雨天中止

(行程等は総会時に改めてご案内します)

* 前部分カウルにダンボールとガムテープで型を作り(写真2)その後粘土が付着しやすいようにコピー紙を張り付け、米

←写真2



国製の色付きクレイ粘土で形成後にニス塗る。後ろ足部分も同様。目玉部分はカプセルトイを装着。ライトは位置的に光りませんでした。(写真3)後部のロープは子供が

←写真3

乗用時に暴走しないように保護者の方に支えてもらおうかと付けました。(写真4)使用スペックは、体重20kgまで。連続走行は約1時間。コンセントがあれば

←写真4



ばその都度充電可能です。子供たちが集まるイベントや「がま口上」の脇に置いて目立つので、出動依頼があれば行きますので、支部に関係なくご連絡ください。

以上宜しく

ゲロゲロ!

護国寺に移された仏塔など今いずこに：⑥

佐藤 貞弘

「昔あったあれは今どうなっているのだろうか」
シリーズ第六弾

昔あったあれは今どうなっているのだろうか。
筑波山に関連するものを中心に軽く紹介しま
す。

明治の廃仏毀釈で中禅寺が廃されたため、その
ほとんどの仏像・仏具が破却され、撤去されたり
したが、知足院中禅寺由来の仏像等を守り伝えて
きた寺院がある。その一つ、東京の護国寺(文京
区大塚5-40-1)に搬出された仏像等を三回に
分けて紹介するその二回目です。

護国寺の仁王門、不老門をくぐり小広場に至る



と、左側高めの位
置から銅造り「地
藏菩薩立像①」

一七七〇(明和七
年)が穏やかな眼
差しで参拝者を
見守っている。
さらに石段を登
り参道を進むと
護国寺観音堂が
あり、その左奥
は広い墓地とな
るがその入口付

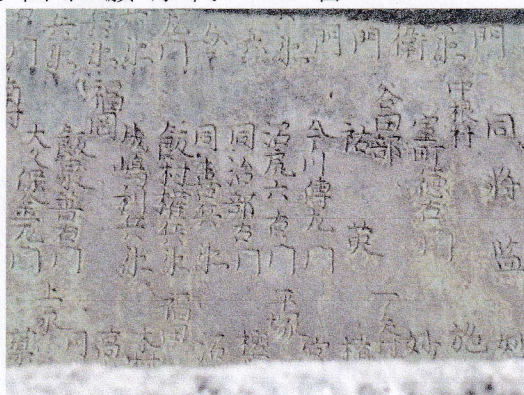
近に銅製「多宝塔(瑜祇塔)②」一七二三(正徳三
年)がある。



銅製台座周囲に
は谷田部祐英、
今川傳左門、沼
尻六右門等多く
の寄進者の地名
と氏名が刻印さ
れており、当時
の地域的情勢を
伝えている。な
お、仏塔の位置
は関係者に確認
しながら中禅寺

境内図③で特定し
ましたが、お気づ
きの点がございま
したらお知らせ願
います。

護国寺は、真言
宗豊山派大本山の
お寺で、一六八一
(元和元年)に五代
將軍徳川綱吉が母
である桂昌院の願
いにより創建され
ました。次回三回
目は金剛力士像を
取上げます。



→多宝塔(瑜祇塔)・部分

→中禅寺境内図(勇範日記より)③



編集後記

抗えない気象災害による甚大な被害や、米・野菜
の高騰。小さな我が畑の青物も鳥たちの餌となり、
残りを頂く日々となりました。それでも次号は何と
50号になります。記念号特集として、がま口上との
関わりや日々の雑感等、多くの方々の声をお待ちし
ています。

編集 集子

緊急 記念号原稿募集

次号はかわら版50号になります！
在籍の長短に関わらず、こんな失
敗があった、あんな嬉しいことが
あった…など100~400字程度でお
寄せください。(7月末〆切)